

銀禧百點

2015
NO.732

11





百点对談

街はだれがつくるのか

ゲスト 森まゆみ 作家

× 山田五郎

キャベツ畑の麗人

山田 世の中には会ってはおかしくないのに、なぜか会えない人がいますが、ぼくにとって森さんはまさにそういう方でした。

森 本当に、どうして今までお会いできなかったんでしょうね。

は、一時期すごく近所だったはずなんです。ぼくは講談社に在籍していた八五年二月に、千駄木・団子坂下の社宅に入りましたから。ちょうど森さんがミニコミ誌、「谷根千」(谷中・根津・千駄木)を創刊されたばかりのころですよ。

森 当時の事務所は、まさに団子坂

のすぐ裏のおんぼろアパートでした(笑い)。講談社は文京区と縁が深い会社ですよ。

山田 あの社宅が講談社創業の地で現在の本社も音羽です。その縁で、ぼくも文京区民になりました。で、千駄木に引っ越してすぐ、近くのお店で「谷根千」を見つけ、地域に根ざした編集姿勢に感銘を受けてずっと愛読していたんですよ。

森 わあ、うれしい。わたしもまだビチピチの二十代でしたし、そのころお会いしたかった(笑い)。

山田 森さんはお小さいころから千駄木にお住まいだったんですか。

森 そうです。両親が空襲で焼け出され、動坂の長屋で戦後所帯を持つて、そこで育ちました。焼けて財産は失ったけど、二人とも歯科医で「手に職」はあった。典型的な戦後民主主義家庭でした。家で銀座へもよく行きました。お買物のコースは、銀座ヨシノヤやワシントン靴店で母の靴、ギンザのサエグサで子供服という具合でしたね。昔、街頭写真というのがあったでしょう。

山田 勝手に撮られておカネを取られるやつですね(笑い)。

森 父がまんまと引っかかるんです。片手は父に、片手でヨシノヤ

の靴が入った箱を大事にかかえている写真、まだ家にありますよ。高校生になったらイエナ書店で洋書をいっぱい買ったりして。読もしないのに(笑い)。

山田 ぼくも大学時代にはイエナでレクラム文庫をよく買いました。

森 ドイツ語なんです。わたしはフランス語の詩集とか、「大草原の小さな家」や「あしながおしさん」をペーパーバックで読みました。

山田 イエナは、ぼくら世代の外国文学好きなら、だれもが一度は訪れる憧れの書店でしたよね。

森 精一杯、背伸びして。声楽とピアノも習っていたので、ヤマハで楽譜やシャンソンの歌集を買ったりもしました。

山田 インテリジェンスのある家庭の品のいいお嬢さまという感じでいいですね。ぼくは世田谷の団舎小僧でしたから、銀座は子供心に敷居が高くて。渋谷よりギアが



(山田五郎氏)



今年もあつめて楽しむクリスマス

中央通り	銀座駅
銀座ライオン	銀座コブ
ニコンプラザ	
木の香	

木の香
GINZA HAKKO

【東京メトロ銀座駅A3出口より徒歩5分
日比谷線東横線駅A1出口より徒歩6分】

〒104-0061

東京都中央区銀座7-10-5 ランディック第3 銀座ビル1F・B1F

TEL:03-5537-3107 FAX:03-5537-3106

mail:kinoka@hakko.com URL:http://kinoka.woodburning.jp/

【F・B1F】11:00-20:00 (不定休)

一段あがる感じがしました。
森 わたしも祖父父母が井の頭線の東松原にいたんです。だから基本的に日曜には世田谷、それがたまたま銀座になるんです。

山田 当時の世田谷はほんとうに田舎でしたから。銀座には、地理的な距離以上に心理的な遠さを感じずにはいられませんでした。

森 祖父父母の家の周りは、面キャベツ畑でしたもの。そこにモンシロチョウが来るから、それを捕まえて育てようと思って、所懸命追っかけていたら、キャベツの向こうにすごくきれいなきもの姿の人が現れて、スウィーツと歩き去ったんです。夢のような光景で、今思うとその方は加藤治子さんでした。

山田 モンシロチョウの精じゃなかったんですね(笑い)。

森 山田さんは銀座に、どんな思い出をお持ちですか。

山田 父の勤務先が日比谷にあったので、土曜の午後に家族で待ち合わせして映画を観たり食事をした。銀座に「お出かけ」するときには必ず革靴を履かされ、「ご馳走」が食べられると期待したものです。

森 わあ、家族サービス。いい感じの戦後家族ですね。

山田 ご馳走といっても不二家のケ

ーキや烏ぎんの釜めしで、映画といっても怪獣カクレイジーキャッツですからね。同じ銀座の思い出でも、森家に比べるとだいぶ華やかさに欠けます(笑い)。

洋館への憧れから

森 銀座との縁はまだあるんです。

大学を卒業するときに、銀巴里のオーデイションを受けたんですが落ちたんですよ。

山田 そこまで本気で声楽に取り組んでいらつしやったんですか。

森 うーん。大学受験のときに藝大受けようかと悩みました。結局は早稲田に進学しましたが、卒業後また夢が再燃して歌手になろうと思ったわけです。でも落ちちゃったので、とあるPR会社に就職が決まったんですが、その会社が銀座八丁目で、銀巴里のすぐそばだったんですね。帰りによく銀巴里に寄っていました。

山田 実はそのPR会社さんには、ほくも講談社時代に仕事でお世話になったんですよ。森さんが在籍されていたことも、のちにある方からうかがいました。

森 ええ！ またもニアミス(笑い)。
七カ月間、家電と食品メーカーのPRをやっていたんです。企業は

SINCE 1950

あたらしい、老舗。



銀座一丁目の上質睡眠専門店

睡眠環境を整える商品や快眠グッズをはじめ
羽毛から生まれたヘアケア・スキンケア商品やベビー用品、エイジングケアを
可能にするオリジナル商品などを取り揃えております。

よく眠った人には、かなわない。

oluha(オルハ)の高品質の羽毛ふとん、羽毛製品は、羽毛ふとんの
パイオニア東洋羽毛工業株式会社が作り出す「純・日本製」です。すぐ
れた手工芸品のように、すみずみまで職人技が生きています。ご結婚
のお支度品としても最適です。また、睡眠改善インストラクターが一人
ひとりの寝姿勢タイプをセンサーで測定し、アドバイスする体験コー
ナーもございます。長年の実績と経験を活かしながら、常に次のあたらし
さを追求しているブランドです。ご来店を心よりお待ちしております。



oluha 上質睡眠専門店

営業時間 午前 11:00~午後 9:00
住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 1-8-19
KIRARITO GINZA(キラリト ギンザ)3F
TEL 03-5579-9710 FAX 03-5579-9711
<http://www.oluha.jp>



消費者の意見を重要視しますか

ら、生の声を聞くために市民集会
に行つて食品の安全について勉強
するうちに、「あれ、こちらのほ
うが正しいんじゃないかしら」と
思うようになって、短いながらも
すごく勉強になりました。それか
ら、翻訳ものの出版社に二年。

山田 その後、「谷根千」を創刊され
たわけですね。谷中・根津・千駄
木は今でも東京でも屈指の人気
スポーツですが、「谷根千」が出る
前はそこまで知られていませんで
した。「ミニコミ誌が地域全体を
活性化できたのも、「生の声」を大
切になさったからだと思います。

森 創刊当時は、谷中といえは墓地
と生姜しか浮かばないような、知
られざる土地でした。「谷根千」
も初期の読者層は美術や建築に興
味があるようなコアな方が多かつ
たんですけど、その後テレビ番組
で取り上げられるようになって、
急激に一般の方に浸透しました
ね。商店街でコロッケ買って、猫
をからかってみようという。

山田 それをスマホで写真に撮って、
SNSにアップする(笑)。休日
にはカメラをさげた若者がいつば
い来ます。坂が多いから、絵にな
るんですよ。東京は坂の街で、

名脇役の花と実

歌舞伎の舞台を豊かに彩る脇役の芸と人。
スペシャルインタビュー 澤村田之助
●中村勘兵衛を語る
●中村歌女之系
●私が愛した脇役たち
●山田庄一 竹田直樹
●山田静夫 朝田富次
●師匠の存在 ●江戸、明治の名脇役たちはか
らう
●ロングインタビュー 中村扇作
●夏の勉強会
●尾上松也 歌舞伎員上公演
●挑む 更なる高へ、勇みしは道
●尾上行近自上演
●第一回 研の會
●中村歌女 中村勘兵衛 中村種之助 勉強会
●第二回 双蝶会

歌舞伎エンターテインメント誌

演劇男

ENGLISH
歌舞伎謎解劇場
懐かしくて貴重な写真が並ぶ「私は
誰でしょう?」 恋人探しや親子合
わせ、見得の名前あてなど、面白く
するための歌舞伎クイズです!
ロングインタビュー 市川團藏
写真インタビュー 中村種之助
スペシャルインタビュー 尾上松枝

小山三ひとり語り
12月号
115 発売
定価
1,450円(税込)

11月号
105 発売
定価
1,450円(税込)

好評連載!
●舞台速報 美しい俳優写真、
詳細な舞台写真、定評ある劇評
●染五郎の歌舞伎摩訶不思議
●小道鳥ものかたり
●名優の食卓 ●歌舞伎名作案内
●ことばの草 ●子ども歌舞伎をたずねて
●演劇界情報 ●これからの公演情報 ●
今日の見どころ ●家で楽しむ歌舞伎 ●
好評
発売中
小山三ひとり語り
中村種三代に仕えた女形、90年の役者人生
中村歌女 完結・本体1,300円+税
発行:演劇出版社 定期購読のお申し込み、お問い合わせ先
TEL 03-3261-2815 FAX 03-3261-0149
発売:小学館 単一ムベージ <http://www.engeki.co.jp>

上は住宅街で下は商店街、斜面は寺社というのが江戸時代からの基本構造。谷根千にはそんな街並みが残っていて、坂を上り下りするたびに景色がガラッと変わるの、散歩するにはうってつけです。景色が変化する。坂があると、崖地に緑地ができますね。

山田 そうなんです。東京はコンクリートジャングルなんていわれませんが、実は山手線内にはけっこう緑地が多いんですよ。

森 旧大名や旧華族の庭園もけっこう残っていますし。わたし、昔から旧古河邸が好きなんです。少女時代、『ジェーン・エア』や『嵐が丘』は、ジョサイア・コンドルの設計したあの洋館をイメージしつつ読んでいました。

山田 その感じ、よくわかります。レンガ造りのお屋敷ですね。

森 ヨーロッパへの憧れから洋館が好きだったんです。小さいころ、ピアノを習いに通っていた家が進駐軍に接収された古い洋館で、「あの塔の上には気がふれた女が閉じ込められているんだ」と、勝手に想像を広げていたりして。

山田 江戸川乱歩の世界ですね(笑)。森さんは古い建物の保存活動にもご熱心でいらっしやいます。あんなに、東京駅から三信ビルへ至る景観は、アメリカというヒストリック・ディストリクト(歴史地区)になり得たと思うんです。先進国は歴史的な建物や街並みをすごく大事にしているのに、日本って不思議な国だと思います。

思いから声へ

山田 新国立競技場も、この号が出るころにはどんな展開になっていきますかねえ。

森 白紙撤回になって、正直驚きました。民意によってお上の計画が中止せられたということは、歴史上、画期的なことですよ。

山田 それくらい、お上の計画が杜撰だったともいえます。おかげでぼくのように今までなんでもお上任せにきた者でさえ、自分たちで考えなきゃと気づかされた。もともと、大事なものはこれからです。白紙撤回で満足してしまわず完成までしっかり見届けていきたいですね。

森 そうですね。相変わらず同じ敷地に、同じような巨大な競技場を建てようとしています。山田さんはわたしが共同代表を務める「神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会」にも早々に賛同くださ

が、その原点には洋館への思いもあつたんでしょうか。

森 あると思います。それと「谷根千」で地域の古い建物を見てきたことで、「こんないい建物を見ずみす壊すなんて」という思いもあつて、いろんな建物の保存活動にもかかわってきました。わたし、わりと勝率高いんですよ(笑)。

山田 保存運動で最初に勝った建物は、どちらですか。

森 旧東京音楽学校の奏楽堂が最初です。久留正道と山口半六の設計で明治二十三年に建設された洋館で、保存決定後に重要文化財に指定されました。次が赤レンガの東京駅。こちらも、その後重文になりましたし。

山田 重文の守護神ですね(笑)。逆に、負けて惜しまれる建物は?

森 丸ビルと、サトウハチロー邸でしょう。サトウハチロー邸はわたしたちで出資して買おうかという話までいったんですけどねえ。

山田 ぼくは三信ビルですね。まさに痛恨の極みでした。

森 ガレリアのある美しい建物で、本当にもつたいなかった。耐震性が問題とされたんですよね、丸ビルもそう。建物を壊さず耐震構造にする方法も、あると思うん

って、すごく励みになりました。

山田 いや、励まされたのはぼくのほうです。昨年公開された『みんなのアムステルダム国立美術館へ』という映画も、公共事業とはなにかを考えさせてくれました。

森 あの映画、すごかった!

山田 オランダの国立美術館の改修工事を追ったドキュメンタリー。四年で完成する予定が、市民から反対意見が百出して調整するのに十年かかった。何度もやり直しさせられた設計者が「この街は民主主義のマッドハウスだ!」と吐き捨てていましたが、逆に日本の市民は声を上げなすぎですね。

Gabby
WASHINGTON

全天候型
シューズ

軽量 300g

強力撥水レザー

吸湿キャンブル中敷

¥20,000+税

銀座ワシントン銀座本店 中央区銀座5-7-7 TEL:03-3572-5911 (代)

森 日本は聞かない民主主義なのね。お上は計画を説明したら、国民に理解させることしか考えてなくて、市民の意見を聞こうとか、ましてや計画を見直そうという気はまるでない。そうになると、国民のほうも聞かないならいうだけ無駄だとなってしまう。

山田 それがお上の思う壺なんですかね。

森 建築の若手専門家からは、おばさん運動などすごく揶揄されるんです。昔から主婦連の人たちを、おしゃもじ運動と茶化したでしょう。専門家でもない、ただの女がなにいつてるんだという。市民の持つ総合性が大事なのに。

山田 いまだにそんなことをいう人がいるんですか？

森 建築家は建てたら終わりですけど、街や住民はそういうわけにはいかない。ですから、景観や住環境まで含めて対話をしましょうとっているのに、おばさん運動とかプロ市民と切り捨てられますと、なんだかねえ。確かに保存活動についてはプロだけど(笑)。

山田 新国立は公金を使うんだからおばさんでも赤ちゃんでも、だれもが発言する資格がありますよ。

森 本当にそう。だれかの一人よが

りの「作品」によって、自分たちの街がよくなる方向に変わるなら声を上げるのは当たり前ですよ。

神宮は「うちの町」ではないけれど、わたしは子どものときにあそこで自転車に乗る練習をしたんですね。千駄木には広い場所がないから、世田谷のお祖父ちゃんちへ行く途中に神宮へ寄って自転車漕いで、お昼は渋谷でごはん食べて世田谷へ。その思い出に殉じようと、参加しました(笑)。

山田 新国立問題では、巨大な公共建築はランニングコストも膨大で後々までお金がかかる事実にも改めて気づかされました。

森 住宅にも維持費、改修費というものがありますね。それを考えないと子孫へのツケになります。わたしたちが主催する勉強会には建築家の榎文彦先生もいらして、前の案では地べたからどう見えるかもシミュレーションしてくださいました。榎先生の同期の沖塩荘一郎先生は前案の生涯コストは約一兆円かかると試算してくださいました。もう頭で理解できないほど、膨大な金額が。

山田 その一点だけでも白紙撤回にしてよかったです、すべての日本国民が感じているはずですよ。

八重洲のおじさん

森 新国立以外にもオリンピックに向けて、あちこちで再開発が一気に進んでいますね。東京を不燃化しようということで、古い家屋が多い谷根千もその対象になっています。でも、古い建物のない東京なんて、観光客が来ますかね。

山田 再開発の錦の御旗は、防災と耐震ですからね。

森 谷根千はたしかに下町の木造密集地域ですからハード面では危険が大きいかもしれませんが、それを補う知恵というソフトがある。

冬は町会で拍子木叩いて「火の用心」と回りますし、道が狭くて消防車が通らないというけど、隣近所協力して軒先を開放してホースを奥まで通せばすぐ消火できる。

山田 日本人は肩書き好きといわれ



西洋料理
南蛮
銀圓亭

銀座・並木通り5丁目
カリオカビル7F
03(3573)1991

ですが、防災でも耐震構造といったハード面の肩書きだけで安心してしまい、助け合いなどソフト面での努力を忘れがちですよ。

森 ソフトの整備には、コミュニティの協力が不可欠でしょう。従来型のコミュニティはうつつとらしいこともありますが、「コミュニティが崩壊した今日」という前提が当たり前になりすぎて、新しい形のコミュニティをつくり直すことをしないと、街がどんどん住みにくい方向に変わってしまう。

「これはおかしいんじゃないか」というときにみんながすぐ集まれるネットワークは、いつの時代でも必要だと思えますけどね。

山田 銀座という街が、時代とともに変わりながらも銀座であり続けているのも、商店街はじめコミュニティがしっかり機能してい

るからこそですものね。

森 そうそう、だから松坂屋が超高層になるのを止められたんですね。あれは快挙です。

山田 お上任せにせず、自分たちの街は自分たちで守ろうとする意識が根付いている。ただ、ひとつ心配なのは、銀座に住む人が年々、少なくなっていることなんです。以前、「銀座百点」で銀座のすしの名店を取材して回ったんですが、古いお店の方はかつては銀座にお住まいで、「どの店の子も泰明小学校で、路地でキャッチボールして遊んだもんだよ」とおっしゃってました。コミュニティを維持していく上では職住近接が理想ですが、ここまで地価が高騰してしまふとそうもいきませんよな。

森 そういえば、わたし、八重洲のおじさんという親戚がいました。新婚家庭で、八重洲の八畳一間のアパートに住んでいたんですよ。

山田 八重洲って、あの東京駅の真ん前の（笑い）？

森 ええ。すごく明るくていい雰囲気のアパートでした。でも、今の八重洲を歩くと、自分の記憶がおかしいのかなと思っちゃいます。

山田 再開発は土地の記憶を根こそぎ持っていつちやいますから、個

表紙の言葉

クラフト・エヴィンゲル商会

ある日、街にビルが建った。それまで水平に発展してきた街が垂直に伸び始めた。空へ向けて新しい商店街がつけられた。画期的な発明だが、これは人間が思いついたことなのか。たとえば、多くの植物が垂直に伸びてゆく。動物の成長も身長がひとつの目安となり、上を指す、という言葉をしばしば耳にする。建ち並ぶビルの群れは、あらゆる生物の姿が形になったものなのかもしれない。



人の記憶のほろが確かでしょう。

森 あまりにも風景が違つてると揺らぎますよ、やつぱり。銀座の建物では和光が好きですね。いつまでもランドマークの時計塔がある、大人の街であつてほしいな。

山田 最近外国人観光客が増えすぎて銀座のイメージが変わつてしまふと心配する声もありますが、

森 心ある中国人の友人たちは、「同胞であつてもあれは恥ずかし」という人が多いですよ。

山田 中国人観光客は「爆買い」してくださるいいお客さんではあります、あれだけ大挙して押しか

けられると、昔からの日本人の顧客が行きにくくなつてしまひもする。実に悩ましい問題ですね。

森 日本人のかつて来た道です。今でもテレビに谷根千が出ると一見客がどつと来て、常連さんの足が遠のく構図がありますもの。でもくるものを拒んだりはできませんから、「この場所はこういうところなんです」ということを発信し続けるのが大事だと思ふんです。谷根千ではわたしたちも、日本人にも外国人にもマナーとして「お寺に入るときは一礼しなすよ」と、「まず本堂に手を合わせてか

ら散策しましょう」、「路地では騒がないようにしましょう」とか、そういうことをいい続けてきましてから、銀座流をスマートに。

山田 マナーを伝えていくのも、コミュニティの重要な役割ですね。海外からの旅行者を摩擦なく増やすためにも、まずは地域コミュニティの再生から始めなければ。

森 そうそう、長い目で根気よく。

山田 建物保存運動と同じですね。東京が、よい部分は残しつつ変わつていけるよう、お互いしっかり見守つていきましょう。

(竹葉亭本店にて)

編集夜話

銀座百点・No. 732

◎東京のあちこちで再開発プロジェクトが進行しています。銀座も例外ではありません。いつものお店、いつもの界隈がある日突然幕で覆われ更地になり、ビルが建つ様子を繰り返し見てきました。

今月の「百点対談」では、東京の街をこよなく愛し、魅力を発信してきたおふたりがご登場。お話の中で、銀座という街はコミュニティにより維持されてきたことを、あらためて認識しました。

建物も街も人がつくり、人が集うことで活気を帯びるもの。天を衝くような巨大クレーンが何基も稼働する工事現場を通るたび、周辺地域の人々が望む形での再開発であるよう願っています。

〒104-0061
発行所 協同組合銀座百点会
東京都中央区銀座五ノハノ二〇
電話 〇三(五七七)六八六〇
振替 〇〇一八〇一—二二七—七

本誌の直接購読は一年ごとのお支払
いにて、郵便振替でお申し込みくだ
さい。また合本ファイルは一年分一
二冊組み用で四三三円(税込)。
送料は二冊まで二〇〇円です。

編集者 渡邊明治

発行人 大日本印刷株式会社

印刷所 大日本印刷株式会社

本誌掲載記事の無断転載・複写を禁じます

芝 章子 渡邊なみ子
つふ 田辺夕子 中野真文

本誌掲載記事の無断転載・複写を禁じます